

令和2年度知的財産活用研修[活用検討コース]実施報告

令和3年3月

令和2年度、独立行政法人工業所有権情報・研修館では、知的財産活用研修[活用検討コース]をオンラインにて実施いたしました。知的財産権活用に関する模擬的な事例について、経営的視点を含めてどのように知的財産権を活用すべきかを、研修受講者同士が検討することで、知的財産権を経営に役立てるための判断能力を醸成することを目的としています。

1. 研修の概要		
(1) 日程	11月4～5日	
(2) 開催方法	オンライン	
(3) 申込人数	8名	
(4) 参加人数	7名	
(5) 講師	4名	
2. アンケート結果		
(1) 研修全体として	人数	割合
・非常に知識や能力が向上した (非常に有意義であった)	4名	80%
・知識や能力が向上した (有意義であった)	1名	20%
・あまり知識や能力が向上しなかった (あまり有意義ではなかった)	0名	0%
・どちらとも言えない	0名	0%
・知識や能力が向上しなかった	0名	0%
・無回答	2名	—
(2) 主な意見・要望	・知財に対して必要な理解はしているつもりだったが、もっと戦略的な思考と行動が必要であることを学んだ。	
	・企業知財の重要性を再認識できた。	
	・経験豊富な先生方から、実際の事例を交えて知的財産や知的財産権の重要性について学ぶことができてよかった。	
	・SWOT分析では知財だけでなく、広い視点で取り組むことが重要であることを知ることができた。	
	・リアルな研修だと地方から会場まで距離があり参加できることが少ないので、オンラインで助かった。	
(3) アンケート回収率	5名	71%